

# 「通いの場」(サロン・カフェ等)実践事例紹介



生活支援コーディネーターは、別名「地域支え合い推進員」とも呼ばれ「地域で暮らす方」と「支援する人やサービス」をつなぐ専門職です。生活支援コーディネーターが日々の活動を通して出会った地域の宝物、素敵なサロン等の「通いの場」を紹介します。



## Vol.03

## 村上サロン(倉敷地区)

【村上サロンの会場から元気な笑い声が響きます】



### 「今日も来たよ!」「また明日ね!」自然にみんな集う、昔ながらの井戸端サロン

- ☆開設年月日  
10年くらい前
- ☆開催拠点  
中庄、村上サロン代表者宅
- ☆参加者  
近所の友達
- ☆活動の回数  
毎日(朝から夕方まで)
- ☆内容  
・お茶とおしゃべり



夏は風通しのよい軒先で、冬は日当たりのよい縁側で村上サロンは毎日、開催中です。好きな時間に来て、好きな時間に帰っていくこの居場所は、どこか懐かしい井戸端会議そのもの。

仲良しのメンバーは、毎日顔を合わせても話題が尽きることはありません。いつもの顔がいつものように出会えるのってこんなに幸せなことなんですね。

## 西町笑天楽寿会(水島地区)

### 男たちの力を地域のために! 男性中心型の「通いの場」



- ☆開設年月日  
平成26年7月
- ☆開催拠点  
西之浦ふれあい会館
- ☆参加者  
地区の住民6人程度
- ☆活動の回数  
月1回(第2土曜日)  
11:00~15:00 【食事会の様子】
- ☆内容  
・男性の料理教室・食事会  
・こども会の支援(ラジオ体操・廃品回収)  
・地域の見守り活動(安全パトロール等)



「通いの場」に集まる男性が少ない。という声をよく聞きますが、こちらの笑天楽寿会は男性のみで構成される「男の居場所」です。男性が新しい仲間を誘い、交流するだけでなく、男の手料理を自宅の奥さまや地域の方へごちそうする食事会を開催したり、子育て支援など、様々な活動の担い手になってくれています。

【笑天楽寿会の名前の由来】

「西之浦の西町の男性が第二・第三の人生を仲間と一緒に交流し、笑い、楽しみながらも地元のためにできることに取り組み、幸せな天寿を全うしたい」という思いからこの名前をつけました。



代表者 梶房 洋一さん